

ねんりんピック式典音楽隊合同練習会・録音会

高校生 音楽で応援

不動岡高校新聞

ぽ
ぶ
ら

白楊

発行所

埼玉県加須市不動岡1-7-45
埼玉県不動岡高等学校
編集・発行・印刷
不動岡高校新聞部
部長 矢島 大雅



全8校で奏でる大迫力の演奏

11月7日(土)から埼玉県で「ねんりんピック」の国さいたま2026が4日間をかけて行われる。総合開会式では大会全体を盛り上げるべく、埼玉県内の高校吹奏楽部と本校を含む音楽部の演奏がある。7月12日(日)に参加校による合唱・合奏の合同練習会・録音会が行われた。(鈴木)

合同練習を通して
音楽部の高橋悠叶さん(2・9)は「吹奏楽部との合同練習は新鮮な体験でしたが、普段の合唱とテンポが違っていて、合わせるのに苦労しました」と合同練習を振り返った。また「ねんりんピックの開会式で披露する

吹奏楽にインタビュー
伊奈学園総合高校吹奏楽部の飯田旬音さん、川口市立高校吹奏楽部の藤井正浩さんに今回の合同



吹奏楽の音に圧倒された

は「普段、このような大きなホールで合唱する機会はないので、普段通りに歌声が響かず、とても難しかったです」と振り返る。それに加え「吹奏楽さんのテンポに合わせることが、音量に負けないことを大切に頑張りました」と語った。(鈴木)



いつもと練習の雰囲気は全く違った

練習について聞いた。今まで合同練習自体はありましたが、合唱と吹奏の演奏を合わせるの今回が初めてでした。「合奏したいところを合わせることがなかなかできず苦戦しました」と苦労を吐露した。「開会式の演奏曲の難易度が高いので、これからは頑張りたいです」と意気込んだ。

伊奈学園総合高校吹奏楽部の大瀧陽菜さん、川口市立高校吹奏楽部の檜山莉央さん、森田実沙さん、さいたま市立浦和高校吹奏楽部の海老原愛さん、清水美来さん、高田侑奈さん、高橋璃央さん



1回目の練習で打ち解けた



積極的に取材を引き受けてくれた

ん、の7人に話を聞いた。「コンクールで演奏する曲の練習の合間で練習をしていましたが、曲数が多いので大変でした」。「演奏に参加する人数がとて多いので、迷惑をかけたと思います」と練習の苦労と本番への想いを語った。

伊奈学園総合高校吹奏楽部の神村珠花さん、北目明希さん、黒沢芽衣さん、菅田大我さん、村上美裕さん、弓田夢子さんに話を聞いた。「他の大会で演奏する曲と同時進行で、ひとつひとつ和音



ねんりんピックの国さいたま 2026のマスコットキャラクター (写真=ねんりんピック推進課提供)

ねんりんピックとは

「全国健康福祉祭」、通称「ねんりんピック」では、60歳以上の方々を中心とするスポーツ、文化、芸術、健康と福祉の総合的な祭典だ。「ふれあいと活気のある長寿社会の形成」目標に、1988年から都道府県持ちまわりで開催されている。

埼玉県ではソフ

開会式はまだ先ですが、7月以降にもねんりんピック関連のイベントも足を運んでみてはどうでしょうか。(新島)

編集後記

をとりながら練習をしました。開会式の本番ではノミスを目指して頑張ろうと思いましたが、これまでの練習と本番への意気込みを語った。(鈴木)



目指せノミス演奏!